

1 事業の成果

2021年度(令和3年度)も、新型コロナウイルス感染対策防止に伴い一部の活動に制限は生じたものの、受託業務、カヌー及びフィッシングの企画等は予定どおり実施できた。

巡視活動について、手漕ぎ船舶利用が増加しつつあることから、5月に・水資源機構・土佐町スポーツコミッションとの合同パトロールを行った。また、シーバードジャパン「次世代育成PJ」を活用し、水上バイク隊員を増員した。

6月には、土佐町スポーツコミッション・早明浦カヌーアカデミー等と協働し、さめうら湖縦断チャレンジ(カヌーマラソン試漕)を行った。動力艇と手漕ぎ船舶とが安全に航行できる方法や管理体制、課題等について検証できた。

冬季は、ワカサギ釣りが注目を集めた。RAGs・ブレイクが中心となり、嶺北高校・嶺北探究(総合的な学習の時間)にて「さめうらワカサギ甲子園」が開催された。また、集落活動センター結いの里(大川村)からの依頼により高知県アドバイザー制度を活用し、ワカサギ釣りガイド研修が実施された。高知放送や高知さんさんテレビにも取り上げられた。

2 事業の実施に関する事項

1) 非営利活動

No.	定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	受益対象者の範囲 及び人数	備考
1	①安心安全快適な環境づくりに関する事業	湖利用利用者および湖利用船舶等管理業務	規則周知、船舶登録等手続き、大会・利用エリア調整、取材、各種問合せ対応など	通年	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関
2		浮き桟橋管理	土佐町スロープ浮き桟橋の管理。(増減水に応じて移設、安全点検など。)	通年	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関
3		早明浦ダム湖面巡視ほか	赤潮、油、表層崩壊、濁流、浮遊物などの確認、利用者数調査など	月1~2回	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関
			ダム管理者、地域スポーツ活動団体、手漕ぎ船舶利用者等との合同パトロール	2021.5.2(日)	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関
4		防犯パトロール	自主防犯組織さめうらポリスと連携したダム湖周辺の防犯パトロールなど	月1回程度	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関
5		水難救助・災害救援	水上レスキュー自主訓練	2021.7.23(金) 2021.8.9(月)	さめうら湖および周辺	シーバードさめうら、ほか関係者
			シーバードジャパンカレッジ(参加・活動発表)	2021.11.18(木) 2021.11.19(日)	広島県広島市	シーバードジャパン、PWSAほか関係者
			海上保安庁合同パトロール	2021.11.28(日)	土佐湾ほか	海上保安庁、海上安全指導員等関係者
6		美化活動	湖面及び河川等のゴミ拾い、ダムスロープ・遊歩道周辺の草刈や支障木除去	月1~2回	さめうら湖および周辺	早明浦ダム湖利用者及び関係機関
			土佐町一斉清掃	2021.6.20(日)	さめうら湖および周辺	土佐町、早明浦ダム湖利用者、関係機関

(さめうら湖合同パトロール)



(水上レスキュー自主訓練)



7	②体験学習推進及び観光振興に関する事業	フィッシング	さめうらワカサギ甲子園 (嶺北高校・嶺北探究)	2022.1.9(日)	さめうら湖および周辺	選手 3名×6組	
			ワカサギ釣りガイド研修 (高知県アドバイザー事業)	2022.2.12(土) 2022.2.20(日) 2022.2.27(日) 2022.3.6(日)	さめうら湖および周辺・村のえき	参加者・研修生 (延べ)45名	
8		サイクリング	大川村さくら祭りライド	2021.4.11(日)	早明浦ダム湖畔 ～大川村大平	サイクリング参加者 18名	
			本山町汗見川サイクリング ツアー(参加)	2021.10.3(日)	モンベルビレッジ ～汗見川	参加者10名	
			本山町行川サイクリング ツアー(参加)	2021.11.14(日)	モンベルビレッジ ～行川	参加者10名	
		ウォータースポーツ	SUP講習(参加)	2021.5.16(日)	さめうら湖	参加者約10名	

(さめうら湖縦断チャレンジ)



(さめうらワカサギ甲子園)



③スポーツ振興及び健康づくりに関する事業	地域スポーツ振興	さめうら湖縦断チャレンジ (カヌーマラソン試漕)	2021.6.6(日)	さめうら湖および周辺	土佐町スポーツコミッションほか	
		早明浦カヌーアカデミー レーニングサポート	2021.8.10(火) 2021.9.23(木)	さめうら湖および周辺	シーバードさめうら、 ほか関係者	
	アウトドアスポーツ振興	フィッシング、サイクリング、 カヌー、ウォータースポーツ 企画等の実施、及び、それ らに伴う安全対策活動。	①～④参照	さめうら湖および 周辺	不特定多数	
④人材育成及び調査研究に関する事業	若者のまちづくり 推進	・美化活動参加 ・水上パトロール参加 ・水上安全訓練参加 ・水上バイク免許取得 ・大川村さくら祭りライド ・さめうら湖縦断チャレンジ ・カヌーアカデミーサポート ・SUP講習参加 ・ワカサギ調査参加 ・ワカサギ甲子園開催 ・ワカサギガイド研修参加 など	①～④参照	さめうら湖および 周辺・ほか	RAGs・ブレイク 約10名	
	湖面利用状況調査	さめうら湖の利用者数、調査 分析、進入路保守管理、清 掃作業など	月1回	さめうら湖および 周辺	早明浦ダム湖利用 者及び関係機関	
	ワカサギ調査	さめうら湖に生息するワカサ ギの実釣調査、先進地視察 など	随時	さめうら湖および 周辺	延べ約30名	
	その他	高知工科大学まちづくり講 義(講師:ラヨシュ・ヨコシ、細 川社司、澤田幾弥)	2021.7.19(火)	高知工科大学	KUT学生ほか	

(ワカサギ釣り体験・さんさんテレビ取材)



(大川村さくら祭りライド)



⑤交流促進及び異業種連携に関する事業	各種交流・連携の促進	前述の活動をととした交流・連携の促進	随時	主に四国地域	不特定多数	
	関係団体への加盟	PW安全協会加盟		全国	不特定多数	
		ウォーターリスクマネジメント協会加盟		全国	不特定多数	
		シーバードジャパン加盟		全国	不特定多数	
		四国の川を考える会加盟		四国	不特定多数	
		NPO法人土佐さめうら観光協会加盟(理事)		土佐町	不特定多数	
		土佐町Happinessスポーツクラブ加盟(運営委員)		土佐町	不特定多数	
		一般社団法人土佐町スポーツコミッション(会員)		土佐町	不特定多数	
⑥その他、目的を達成するために必要な事業	総会・理事会	総会	2021.06.20(日)	事務所	出席11名	
	さめうら湖協議会	合同会議(参加)	2021.6.15(火)	早明浦ダム管理所	参加者約25名	
	早明浦湖水祭	水神式(参列)	2021.08.07(土)	水之塔	参列者約10名	
	広報活動	高知県観光パンフレット(ワカサギ釣り)	2021年度版	さめうら湖	不特定多数	
		高知新聞(さめうら湖縦断チャレンジ)	2021.03.08(火)	さめうら湖	不特定多数	
		高知新聞(さめうらワカサギ甲子園)	2021.12.16(木)	さめうら湖	不特定多数	
		高知新聞(さめうらワカサギ甲子園)	2022.01.10(月)	さめうら湖	不特定多数	
		高知放送 eye+スーパー(ワカサギ釣り)	2022.2.10(木)	さめうら湖	不特定多数	
		高知さんさんTV 三山ひろしのさんさん歩く(ワカサギ釣り)	2022.02.11(金)	さめうら湖	不特定多数	
		ボートフィッシング関係	19件	さめうら湖	不特定多数	

2) その他の活動

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び神通	事業費の金額(千円)
飲食物等の販売事業	無し。				0

※コカコーラ自動販売機売上手数料として生じた収入は非営利事業に振替。

■高知県観光パンフレット（切り抜き）

つたいけん
ワカサギ釣り体験【土佐町】

TEL.0887-70-1541（さめうらプロジェクト）

受付 9:00～18:00 休 不定休

**7日前迄
に予約**



ガイドが釣りポイントまでの操船と釣り方のアドバイスをしますので、初心者の方でも大丈夫です！釣りに加えて、広大な湖をボートで遊覧でき、年齢問わず気持ち良く楽しめますよ。



らぶさめフィッシングガイド
Blue☆Lake(ブレイク)
上田 健一さん

四国の水がめ「さめうら湖」でワカサギ釣り。東北などで行われる氷上での釣り堀スタイルではなく、ボートに乗って景観も楽しみながら釣れる。

集合場所 土佐郡土佐町田井 早明浦ダム湖進入路 9:00～18:00（実施は11月頃～3月頃）
 ①ガイド付き釣り体験（1日）40,000円～、レンタルボート（1日）25,000円～、釣り具・餌セット3,000円～※料金にはライフジャケット、湖面利用料等を含みます
 ②大豊ICから車で約25分

🕒 半日、または1日

👥 乗船定員1名～3名/艇



MAP
P46 C-2 A

■高知新聞 2021年6月8日掲載
さめうら湖縦断チャレンジ

土佐町から大川村までを縦断した生徒ら
（大川村船戸の早明浦ダム湖）



カヌーで早明浦ダム縦断

土佐町など 本格イベント向け試行

【嶺北】土佐郡土佐町と大川村に広がる早明浦ダム湖で「カヌー」を出発。大川村船戸の直6日、カヌーやSUP（スタンドアップパドルボード）にのこすを往復した。タイムによる「さめうら湖縦断チャレ」は競わず、児童生徒らは互いの体力を気遣いながら懸命にパドルを動かしていた。

高生ら約30人が汗を流した。同町で小中高生を指導するハンガリー人のカヌー元世界王者、ラヨシュ・ジョコシュさん（41）の発案。町や町スポーツコミッションと協力し、将来の本格的なイベントを見据えて試験的に開催した。嶺北高カヌー部OBを含むスタッフ約30人が誘導や警備に当たる中、参加者は同町田

（竹内将史）

「新型コロナウイルスで室内にこもりがちな人をアウトドアに連れ出したいと考えたんです。高校生同士の交流もつくりたい」実行委員長で2年の上田結(さん17)「土佐町」が意気込む。自宅前を流れる地藏寺川の清流でアメンコ相手に釣りを始め、小学校高学年でバスケットバスの世界に。現在も、野球同好会の練習の合間を縫って早明浦ダムでルアーを投げる。

早明浦ダムでは2018年から、観光振興のため地元NPOなどがワカ

サザ釣り大会を開催している。「田さんは中学時代からスタップや選手として親しみ、その経験から「甲子園」の開催を思いついた。」

「魚どの駆け引きを考へ、自分の世界に入っていく感覚が好き」

嶺北高にはこの感覚を共有できる仲間がいる。同じ野球同好会に所属する、幼なじみの和田友希さん(17)と藤田一哉さん(16)。そして、高知市から来ているカヌー部員の西川慎吾さん(17)だ。

今秋、地域課題に取り

組む母校の授業で思いを打ち明けた上田さんに、3人は「やろー」と即答。実行委員4人のプロジェクトが動き出した。この思いに、大人たちも応えている。

「めっちゃめっちゃ、うれしい。地元の高校生と地域外から来てくれた友達と一緒に取り組むなんて！」

大会を主導してきたNPO「さめうらプロジェクト」の辻村幸生理事長は興奮気味。とはいえ、安全対策や資金など、運営には現実的な問題もある。

る。企業に協賛をお願いしたり、競技用ボートを手配したりと、一緒になって準備を進める。

そろいのウエアで釣る嶺北高の4人は、既に今季のワカサギを試し釣りしている。「今年は型が良い。こつをつかむと、1人200匹の可能性も」針に食いついたワカサギをバ



「経験者も初心者も、男子も女子も大歓迎！」
(本紙・ハチ)

「甲子園」は10チーム
(1組3人)を募集。チームごとにボートで釣った総匹数を競う。参加費1人2千円。申し込みは29日まで。詳細は「さめうらプロジェクト」のウェブサイト
(上記のQRコードから閲覧可)

で。問い合わせ先は同プロジェクト(08897・70・1541)。

高校生の、高校生による、高校生のための釣り大会。

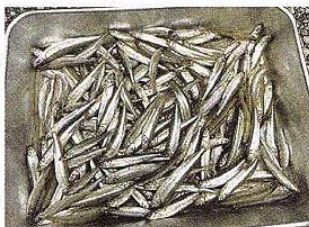
「さめうらワカサギ甲子園」と題した釣りイベントが来年1月9日、早明浦ダムで初めて開かれる。企画したのは、嶺北高校生の釣り師4人組。出場校を募集中だ。

来れ！ワカサギ甲子園

早明浦ダムのワカサギ
大会当日に天ぷらなどで
味わえる

スやニゴイが食って仕掛けを切られることも。外道との駆け引きもポイント。こんなアドバイスを送りつつ、挑戦者を待つ。

(本紙・八千)



エブサイト
(上記のQ
Rコードか
ら閲覧可)

で。問い合わせ先は同プロジェクト(0887・70・1541)。

のフカサ釣りには経験したところある藤アナだが、湖での釣果はどうか。他に、地域の人が代々母ってきたフグコンウへの思いや、自然を生かした芸術を築く人だちを紹介する。



(宣知放送＝後3・50)
「お美登見、まどいっ
か」は、藤井信子アナウ
ンサーが土佐町と大川村
へ回った。まづは、早明
遺文と湖の新しいアマン
ペリアーとして注目さ
れているワカギ釣りに
挑戦。北海道出身で水上

★ ۷۹ ± ۸ - ۱

陈逸飞

熱戦！ワカサギ甲子園

嶺北高生企画 早明浦ダムで競う

ワカサギを釣り上げ喜ぶ高校生ら（写真は
いずれも大川村役場近くの早明浦ダム湖）



【嶺北】土佐郡大川村の早明浦ダム湖で9日、嶺北高校の生徒が企画した「さめうらワカサギ甲子園」が初めて開かれ、高知海洋高校、安芸高校と合わせて6チーム18人が釣果を競い合った。

新型コロナウイルス下に高校生が交流できるアウトドアイベント

嶺北の4チームと高知海洋、安芸の各1チームが出場。それぞれエリジン付きの小型ボートを振った。

優勝は134匹を釣った嶺北高のチーム。2位の高知海洋高に28匹差をつけたメンバーは「周りからのプレッシャーもあったので優勝できてほっとした」と笑顔だった。全チームでは計437匹を釣り上げた。

ワカサギは「さめうら」のシエフが天ぷらやアヒージョにして生徒らにふるまった。安芸高2年の有沢健太さん（17）は「新鮮で生臭い。自分たちで釣ったから余計においしく感じる」とほおばっていた。

実行委員長を務めた嶺北高2年の上田結仁さん（17）は「多くの大人の協力があったことまでこれだ。嶺北の冬の観光資源として定着させたい」と話していた。

（谷沢文流）



チームごとにボートから釣り糸を垂らす生徒たち



★フライムこうちF
（さんさん）後6・09
「三山ひろしのさんさん歩」は前回に続き、大川村編を送る。早明浦ダ

ム湖の新たな冬のアクティビティとして注目されるワカサギ釣りに挑戦する。指導するのは、今年初めて開催された「さめうらワカサギ甲子園」で実行委員長を務めた嶺北高校の生徒たち。釣り好きの三山と、釣り初心者の中村安里アナウンサーがそれぞれ高校生とペアを組み、どちらが多く釣れるか対決する。果たしたか、どちらが勝利するか。